

参加してください！図書委員企画

図書委員企画 おみくじ

今年もいろいろやります



配布期間： 1月10日（水）～1月26日（金）
カウンターで1回、おみくじを引いてください。
内容いろいろ（約100種類、凶入り）。今年の運勢を占ってね。
「超大吉」を引いたラッキーな人にはいいことがあるかも。



新しく入りました！

- 『さよならの言い方なんて知らない。4』（河野 裕）／『オーダーは探偵に 12』（近江 泉美）
『推しの子 一番星のスピカ』（赤坂 アカ）／『フォトミステリー』（道尾 秀介）
『88歳、しあわせデジタル生活』（若宮 正子）／『しっぽの殻やぶり』（福德 秀介）
『知られざる古墳ライフ』（譽田 亜紀子）／『めくるめく数学』（嶽村 智子）
『続 窓ぎわのトットちゃん』（黒柳 徹子）／『法廷遊戯』（五十嵐 律人）
『怪人二十面相 私立探偵 明智小五郎』（江戸川 乱歩）
『朝日キーワード就職 2025』（朝日新聞出版）
『国別世界食文化ハンドブック』（ヘレン・C・ブリティン）
『マンガでわかる「西洋絵画」のモチーフ』（池上 英洋）
『だれでもできる【超簡単】建築パース 改訂版』（村山 隆司）
『世界で一番楽しい建物できるまで図鑑 木造住宅』（大野 隆司）
『すべての恋が終わるとしてもー140字のさよならの話』（冬野 夜空）



今年こそ頑張る！におすすめ！

ダイエット→『はじめてのやせ筋トレ』（とがわ 愛）

進路→『なりたい！が見つかる お仕事図鑑』（朝日新聞出版）

お弁当→『ムリなくできる！栄養のこと、ちゃんと考えた 毎日おいしい弁当』（牧野 直子）

英語→『ゼロからスタート英語で話そう自分のことトレーニング BOOK』（宮野 智靖）

コミュニケーション→『13歳からのファシリテーション』（ちよんせいこ）

手帳活用→『13歳からの「手帳活用術」 新装版 学力向上習慣が身につく本』（小澤 淳）





BOOK OF THE YEAR 2023



本の紹介雑誌「ダ・ヴィンチ」が毎年行っている、全国の書店員など本に詳しい人たちの投票で決まる「BOOK OF THE YEAR」が今年も発表されました！

小説部門

【1位】『成瀬は天下を取りに行く』（宮島 未奈）

中継に写るために閉店する店に毎日通ったり、M-1に挑戦したり、自分の髪で実験したり…。とにかくひたすら我が道を行く成瀬。友だちが成瀬だったらきっと毎日飽きません。

【2位】『世界でいちばん透きとおった物語』（杉井 光）

有名なミステリー作家が死ぬ間際まで書いていた作品を探し始めるが…。電子書籍では絶対成立しない素晴らしい仕掛けがラストに隠されています。

【3位】『君のクイズ』（小川 哲）

クイズ番組の決勝戦。まだ一文字も問題が読まれぬうちに正解した相手。真相を解明するために主人公は周りの人間に話を聞いていくが…。



コミック部門

【1位】『違国物語』全11巻（ヤマシタ トモコ）

少女小説家の槇生は、姉夫婦の遺児・朝を引き取り暮らし始める。圧倒的人気で、2024年実写化予定！

【2位】『気になってる人が男じゃなかった』1巻（新井 すみこ）

あやの推しは実はクラスメイトの女子生徒だった。名前のつけられない2人の関係がスタートする。

【3位】『ONE PIECE』1～107巻（尾田 栄一郎）

ワノ国編が完結し、新章へ。相変わらずの人気作品。



城東地区図書館大賞 決定！

城東地区の高校（大津、阿蘇中央阿蘇校舎、阿蘇中央阿蘇清峰校舎、小国、高森、翔陽）の図書委員が選ぶ「城東地区図書館大賞」。今年度はこの本！

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』（汐見 夏衛）

思い悩む日々を過ごしていた百合は、ひょんなことから戦時中の日本にタイムスリップ。彰に助けられ、惹かれていくが、彰は特攻隊員で戦地に飛び立つ運命だった。戦争の悲惨さと二人の純愛、涙なしでは読めない本。（原稿：大津高校）



先月（12月）の貸出

1年次	51冊（多読クラス	6組	15冊）
2年次	119冊（多読クラス	2組	40冊）
3年次	17冊（多読クラス	4組	7冊）